



特集

ありがとうをあなたに
～ボランティア活動機器・備品助成を受けた団体の活動紹介～

ボランティア探訪

社協の取り組み

高校生ボランティアチャレンジ体験

～みんなでほかほか♡ハッピータイム～

～社会福祉法人能美市社会福祉協議会～

ボランティア活動に関心を持ってもらうために、毎年度、市内にある石川県立寺井高等学校で「高校生ボランティアチャレンジ体験」を実施しています。

活動は、生徒会やJRC部が中心となり、全校生徒に参加を呼びかけるスタイルで行ってもらいます。

令和4年度は、「子どもたちに読み聞かせをしたい」と高校生自らが企画し、読み聞かせボランティア活動者を講師に、絵本の持ち方や声の出し方、表現などを教わり、真剣に取り組んでいました。

そして、実際に市内の保育園へ出向き、園児の前で読み聞かせを行い、交流を深める体験となりました。

高校生たちからは、園児たちから大変喜ばれたことにやりがいを感じ、今後も地域の一員として、地域の人々のために役立つことをしていきたいとの意見が聞かれました。

高校生ボランティアチャレンジ体験事業の実施を通して、地域とのつながり、共生の大切さを伝えていくことが重要であり、これからも、このような体験活動を福祉教育推進の重要な事業として大切に取り組んでいきます。



企業の取り組み

住友生命「スミセイ・ヒューマニー活動」

住友生命保険相互会社 金沢支社

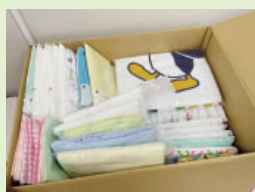
1992年に開始した従業員参加型のボランティア活動「スミセイ・ヒューマニー活動」は、職員が進んで社会参加の汗を流すというコンセプトのもと実施しています。

31回目を迎える当活動は、サステナビリティの重点取組みの一つとして掲げられており、「2050年GHG排出量（二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガス ネットゼロ）の実現について、一人ひとりが「自分事」として捉え、行動に繋がられるよう、GHG排出量削減に貢献する取組みを推進しております。

また今回は、石川県社会福祉協議会様ご協力のもと、未使用タオル・文房具を複数の施設様へ寄贈させていただきました。

廃棄予定であった未使用品が沢山の方々の役に立てますことを非常に嬉しく思います。

今後も、社会にとってWellbeingに貢献する「なくてはならない」生命保険会社を実現するため皆さまの心に寄り添う活動を継続してまいります。



ありがとうをあなたに

特集

～ボランティア活動機器・備品助成を受けた団体の活動紹介～

「ボランティア活動機器・備品等助成事業」は県内でボランティア活動を行う団体が、活動に必要な機器・備品等を購入する際の購入費に対して助成を行う事業です。

この助成事業は、昭和57年に県内のボランティア活動を支援するために石川県社会福祉協議会に設置された「ボランティア活動振興基金」により行われています。基金は、県からの補助金や企業、個人からいただいた寄付金から成り立っており、この寄付金を積立て、その運用益（預金利子）で、福祉ボランティア活動の環境づくりを進めています。

令和4年度は、56団体、総額4,397万円を助成しました。

ボランティア団体を応援したい、地域の役に立ちたいという想いのつまった寄付金は、地域で活動するボランティアの方々にとってなによりの励みとなります。

今回は、助成を受けた団体の活動紹介をします。

楽しく健康に暮らせる地域づくり

なかよしサロン鳥屋尾（津幡町）

ポッチャボール

なかよしサロン鳥屋尾は、平成26年にこの小さな集落に高齢者が多くなり、元気で長生きできるようにと願い、14名で立ち上げました。

支援ボランティア4名と軽体操の講師1名にお願いし、集落の集会所にて月1回の回数で8年近く、和気あいあいと楽しく開いていましたが、この度石川県社会福祉協議会ボランティア活動機器・備品等助成事業があると聞き、サロン活動のマンネリ化を防ぐため応募したいと決め、当サロンでは買えないポッチャボールをお願いしました。

お陰さまでなかなか増えなかった会員も、若干増えてきており喜んでいきます。

今後、当サロンも活気あふれた憩いの場となるよう活動を続けたいと思います。



一人暮らしの高齢者に手作り弁当をお届け

あぎし配食ボランティアグループ（輪島市）

アルミ両手鍋、ステンレス包丁、まな板

私達は女性14名、男性2名の16名で、78歳を超えて独居の方、夫婦共に80歳を超えた家庭、身体不自由で独居の方など70人に2ヶ月に1回、手作り弁当を届けています。

お届けの際には近況や体調などをお聞きし、見守りの一環として生活にお変わりがないかの確認もしています。

お弁当は、メンバーが漬物や自家製の新鮮な野菜等を持ち寄ってくれるので、毎回立派なお弁当が出来ます。

届けに行くと「いつも美味しい弁当ありがとう。今度いつ？」と楽しみにしてくれています。

調理場の雰囲気もととてもよく、いつも和気あいあい、賑やかに調理しています。

包丁やまな板の調理器具が新しくなったことで作業効率もあがりました。

この活動は地域のつながりの大切な機会にもなっています。これからも、季節の旬の物を取り入れながら、美味しい弁当を届けて喜んで食べてもらいたいと思っています。



「太極拳・健康クラブ」…鏡に映ったきれいな姿勢

太平寺カフェ（野々市市）

移動式スポーツミラー 2枚

太平寺カフェは町内の高齢者がつどい活動する場所をつくろうと2014年に発足しました。

中でもフレイル予防を期待して、「太極拳」「健康クラブ」を始めて3年あまり。

これまで先生に「もっと腰を伸ばして!」「身体の力を抜いて!」とアドバイスを受けても、自分の姿勢が見えないと納得できませんでしたが、自分の全身が鏡に映って初めて先生のことばが納得できるようになりました。

全身が映る大きな鏡で自分自身の姿勢を映し出して見ることで、自然で健康な姿勢を追及することができると先生から言われました。

腰が曲がっていたり、背中が曲がっていたりしても、また、人から言われてもなかなか納得できないものです。

「良い姿勢は健康の元」とも、「きれいな姿勢は美しく見える」などとも言われます。

今後も「太極拳」や「健康クラブ」だけでなく、太平寺カフェを利用する皆さんが自分の全身を映してみることで健康に関心を持って欲しいと願っています。



一打ごとに親睦深めて

よらん会ね（七尾市）

スカットボールセット

私達「よらん会ね」は令和元年5月にスタートしました。

月1回独居の方や、家にひきこもりがちな人達との交流を深めようと地区の町民会館に集まっています。

軽い体操・出前講座・ゲーム等楽しく行っていて、参加人数も回を重ねるごとに増えています。

今回、県社協からの助成金でスカットボールを購入しました。

ゲームで親睦の「和」もより濃くなり、一打ごとに声援や拍手が湧き上がり、とても賑やかで和やかな雰囲気になります。

これからも、顔を合わせ会話を楽しみながら、仲間づくりの場としての活動を続けていきたいと思っています。



心豊かな 一時をお届け

くまっこ隊グループ（志賀町）

台車、絵本

私達は、平成16年に地域の小学校での読み聞かせをきっかけに、発足しました。

その後は、乳幼児保育園・保育園・図書館・高齢者の集まりの場でも活動しています。

年齢、季節、テーマにあわせた読み聞かせやいろいろな楽器での演奏をして、お話と音楽を届けています。コロナ禍で密を避けるため、会場を広く使うようになり、大型絵本・大型紙芝居の活用の方がより増えてきました。

そうなる大きな本や道具でいっぱいになり、車から会場までの運搬の往復が大変になりました。

今回の助成で購入した台車は、重たい道具を楽に運べ、喜んでます。

また購入した大型絵本を乳幼児の集まりで、大型紙芝居を高齢者の集まりで読み聞かせをしました。

「とても見やすくお話がよくわかり楽しかった」と喜んで頂きました。

コロナ禍でお話会の回数は減りましたが、これからも色々な場で活用して、多くの方々に絵本の魅力を伝え、心豊かになれる時間を届けていきたいと思っています。



「令和5年度 ボランティア活動保険」の加入を受け付けています

令和4年度のボランティア活動保険は令和5年3月31日をもって終了します。
引き続き加入する場合は保険の更新が必要です。

〔ボランティア活動保険 補償金額（保険金額）・保険料（1名あたり）〕

保険料の種類		補償プラン	基本プラン	天災・震災補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外		補償開始日から補償	
地震・噴火・津波によるケガ		×	○	○		
賠償の補償	賠償責任の補償 （対人、対物共通）		5億円（限度額）			
年間保険料			350円	500円	550円	

加入手続きは、お住まいの市町社会福祉協議会、または石川県社会福祉協議会にて受け付けております。
ボランティア行事用保険につきましても、加入手続きを受け付けておりますので、地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う行事を実施される団体等は、社会福祉協議会にてご加入ください。
安心してボランティア活動を行うためにも、ボランティア活動保険に加入しましょう！

ボランティア活動振興基金の状況

■基金現残高

404,828,949円 令和5年2月末現在

内訳
 （民間寄付金 204,828,949円）
 （県補助金 200,000,000円）

■基金利息見込額（令和4年度）

約4,627,000円


こんなとき こんなお金を

企業の社会貢献として
 祝いごと、香典返しの一部を
 企業・商店・各団体の開設、創立記念として
 お買物のおつり、おこづかいの残りを
 お給料から毎月コツコツと

※ボランティア活動振興基金へのご寄付は税控除の対象となります。

ご寄付をありがとうございました（R4.4～R5.2）

- ・東洋羽毛北信越販売株式会社 北陸事業所
- ・北陸労働金庫 本店営業部
- ・ふれあいFund（PFU労働組合）
- ・他、個人の皆様

発行／ 社会福祉法人 石川県社会福祉協議会 ボランティアセンター
 〒920-8557 金沢市本多町3丁目1番地10号
 ☎(076)234-1616 FAX(076)222-8900
 E-mail: ivc@isk-shakyo.or.jp URL: http://isk-shakyo.or.jp/volunteer/

ボランティア活動振興基金のシンボル・キャラクター「ユーくん」です。

生まれは、昭和60年3月29日、この日に新聞広告で県民の皆さんに発表されました。
 生みの親は、当時金沢美術工芸大学の学生さんにボランティアで制作していただき、名付け親は、新聞等で公募しました。
 優しさ、勇気、友達の「ユー」です。

